Rotary 高田ロータリークラブ会報 2018～2019年度
Rotary Club of TAKADA Report

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「自らのロータリーストーリーを
作りましょう」

高田ロータリー
今年のスローガン

「善意を深め、
奉仕の力を昂めよう」

インスピレーションになろう

2018～2019年度
国際ロータリー会長　バリー・ラシン
2560地区ガバナー　川瀬　康裕
高田ロータリー会長　牧野　章一
幹事　佐藤　教彦

事務局：新潟県上越市西城町2−10−25 大島ビル201号
TEL（025）526-3288　FAX（025）526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL（025）526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
堀井　靖功　岩﨑　幹男　宮川　大樹

第30回例会 ■ 3月8日㈮

No.30

会長挨拶 ● 牧野　章一

皆さまこんにちはー。今月の「ロータリーの友」に目を通されましたか？ガバナーエレクト in 国際協議会のページがございます。そこに、大谷エレクトのコメントが、そしてにこやかな笑顔が３枚の写真にあります。

明日は、ローターアクト 地区大会です。ご出席の皆さまにはスポンサークラブとして側面のご協力をお願い申しあげます。

さて、３月 11 ～ 17 日は、世界ローターアクト週間です。彼らの会員資格は、年齢 18 ～ 30 歳の学生および若い職業人です。当然、ロータリー家族の一員であります。国際ロータリーでは 30 歳を超えた OB・OG のロータリー入会を推奨していますがなかなか進みません。時間・お金・偉い方々？などでハードルが高い がその理由といわれています。

そこで、いま注目をされているのが衛星クラブです。「入会条件」成人「メンバー数」８～ 19 人（20 人以上は新クラブを結成する）、「会費」人頭分担金、地区分担金は未定、クラブ会費は任意、「組織」議長（幹事・会計）、「運営・活動」例会回数･内容制約なし､「職業分類」制約なし､「身分」ロータリー家族､「管理･監督」スポンサークラブ、という組織です。

この制度は、ローターアクト OB・OG のみならず、全ての人に開かれています。ロータリーの現実はここまで来ています。

今日の卓話は、東北電力株式会社上越火力発電所建設所 所長 鈴木文博様です。演題は、「東北電力㈱上越火力発電所１号機の概要について」です。興味深いお話が伺えると思います。ご清聴ください。

出　席　報　告

出席率　100％

セ レ モ ニ ー

2019-20 年度地区役員委嘱状伝達　羽深耕時君

委　員　会　報　告

出席ニコニコ BOX 委員会
堀井靖功君――やっと『前島密　ふるさと上越との絆』が完成しました。今年は没後 100 年です。前島密の顕彰がさらに広がることを期待しつつ。
親睦委員会――３月会員お誕生日各お祝い・４/12 観桜会のご案内
青少年奉仕委員会――３/９　ローターアクト地区大会のご案内

会員インフォメーション

高坂光一君――インドポリオ撲滅活動に参加して
葛西　弘君――４/４講演会のお知らせ
ゴルフ同好会――たら汁の会のご案内

幹　事　報　告

配布物：週報№29
回覧物：４/４岡三にいがた証券創業120周年記念講演会チラシ

報　告：３月11日合同例会交通手段について
17:30　デュオ・セレッソ出発、
終了後会場～デュオ・セレッソ着

卓話　上越火力発電所１号機の概要について

東北電力株式会社上越火力発電所建設所　所長　**鈴木　文博 様**

高田ロータリーの皆さん、はじめまして。東北電力㈱上越火力発電所建設所、また、直江津ロータリー所属の鈴木です。

昨年の７月に建設所が設立されてから早８ヵ月が過ぎました。思い起こせば、赴任当初より猛烈な暑さで、毎日汗だく、夏バテ気味でしたが、警戒していた今冬の雪は例年になく少なかったこともあり、おかげさまで、今年５月の着工に向けて順調に準備工事が進んでおります。

当発電所は、今年７月からの土木・建築工事の本格開始を皮切りに、2021年早々には機電工事が開始され、2023年６月には営業運転を開始する予定となっております。当社とメーカーでの共同研究により開発された、LNGを燃料とする世界最高水準である熱効率63％以上の高効率ガスタービンを採用する予定となっており、今年度の優秀省エネ機器大賞の経産大臣賞も受賞しております。また、昨今の再生可能エネルギーの普及で、電力運用も大きく変化してきており、スピーディーな起動や出力変化など、高度な運用性も要求される中、IoT・AIといった最新技術の導入により、より効率的な運用を可能とする技術の導入にも果敢にチャレンジしていきます。

また、発電所の景観に関しては、本館建屋に３本のラインで、真ん中に上越市のシンボルである桜をイメージした「桜色」と、その上下に謙信公の天賜の御旗を連想させる「紺色」で装飾します。景観的にも地元に馴染むようなイメージで考えています。

営業運転まで４年と、まだ先の話でありますが、運転開始の暁には、一瞬でも世界一の発電所となるよう、また、当発電所を広くPRすることで、ここ上越もしっかりPRできるよう、そしてなにより、地元の皆様に愛される発電所となるよう、しっかりと努力してまいる所存です。今後ともよろしくお願いいたします。

私もひとこと　インド　ポリオ撲滅活動に参加して

髙坂防災株式会社　**髙坂　光一 君**

今回、デリーでNIDに合わせたポリオ撲滅活動に参加してきました。RIではポリオ撲滅活動に対し資金提供に留まらず、世界各地でNIDに合わせポリオワクチン一斉投与のボランティアを長年進めています。

直前にワクチン数の不足から日程変更となり、当初40名を予定していたチームジャパンは７名（米国・カナダは70名参加）でしたが、先方の指定した地区で保健師指導の下、ワクチン投与を行う他、ポリオ基幹病院に赴き専門医･患者と交流、地元RC行事への参加等、時間は瞬く間に過ぎました。ワクチン投与は注射器でなく経口投与の為、医師資格がなくても可能ということから、私も十数名の子供に２滴ずつのワクチン投与を行ってまいりました。投与の順番を待つ幼児達はクリクリとした可愛い目をして微笑ましかったです。

私にとって初めてのインド。わずか三日間の滞在でしたが、PM2.5等大気汚染、ごみ処理や下水道整備が開発に追いつかない現状を目の当たりにし、人の健康維持には栄養はもちろん、水・空気といった基本的な環境改善も重要と感じ帰国しました。また機会をみつけ本プログラムに参加したいと思います。

最後に、本プログラムを紹介してくれた東京のRA、今回お世話になった全てのロータリアンに感謝致します。

※楽しみにしていた本場のカレーを食べられなかったことは残念としか言えません。